

かがわ総文祭

全国の想いをひとつに

↓全国から集まった新聞部員たちと紙面を作成している様子



新聞局狩野、本間は7月の28日から30日にかけて香川県善通寺市行われた、第49回全国高等学校総合文化祭に参加した。

1日目には、全国から集まった新聞部・新聞局の生徒たちとの交流会を兼ねたアイスブレイクを行った。



↓次の総文祭開催地の秋田県への引き継ぎの様子



2日目に班ごとに分かれてそれぞれ香川の各所に取材をし、記事のレイアウトの決定をしたり、記事の内容や使う写真などを考えた。

局員の本間は丸亀城の歴史について取材するために城を構成する区画である曲輪(くるわ)を歩いて登り、石垣の復元作業の様子や丸亀城にまつわる色々な逸話、天守閣の歴史などについて話を聞く

ことができた。

一方で狩野は、「こんぴらさん」で親しまれている金刀比羅宮に訪れた。表参道での取材と御本宮に登り官職の方からお話を聞いた。表参道ではお菓子を一つ一つのお店が多かったのでお菓子の歴史について、御本宮では金刀比羅宮の歴史といった「歴史」に焦点を置いて取材を行った。

最終日の3日目の午

前中には新聞の紙面を完成させ、午後には審査員の方から作成した新聞の講評を頂いた。

夕方には研修取材として四国水族館を訪れ、シュモクザメやニシキゴイをはじめとした川や海などに生息する様々な生き物たちを見て回った。特に、コツメカワウソのショーでは、体温の低下を防止する毛の仕組みや魚を獲るために発達した前足のことについて飼育員さんの説明を聞くことができたのが興味深かった。

コラム

〜再発見！
香川の名産品〜

香川県の名産品といえばうどんですが、次のうち香川県の名産品であるものはどれ？

1 手袋 2 柚子 3 うちわ 4 オリーブ

正解は1、3、4！
1の手袋は、16世紀半ばにポルトガルから伝わり、その後18世紀後半に事業家の棚次辰

吉が東かがわ市に事業と技術を持ち帰った事がきっかけと言われている。現在では国内手袋生産の約9割を占めるほどの日本最大の手袋産地となったのだとか。3のうちわは、京都の金光院の住職が金刀比羅宮の土産物として天狗の扇子にちなんでうちわを考案したのが起源なのだそう。江戸中期に丸亀藩が財政難を逃れるべく下級武士たちにうちわづくりを奨励し、「丸亀うちわ」が広まっていった。

4のオリーブは、明治40年に当時の農商務省がオリーブ栽培の試験地3県の1つとして指定したのが始まり。翌年の明治41年に小豆島でオリーブの苗木を植栽し、産業としてのオリーブ栽培をするようになったといったのが起源だと言われている。

香川の名産品について知識が広がれば幸いです。あなたもぜひ香川へ足を運んでみてはどうだろうか。

【担当 狩野・本間】